

特集 ふるさと教育の推進
～わかやまのことを
もっと知ろう、もっと学ぼう～ P.2-3

2016情熱疾走 中国総体
和歌山県でヨット競技大会開催 P.4

きのくに教育めぐり 串本町 P.5

共育コミュニティは今[VOL.19]
御坊市立御坊小学校 P.6

展示・イベント P.7

教育長エッセイ P.8

輝く！紀の国の教育

Wakayama Prefecture
education public relations paper



特集

ふるさと教育の推進

～わかやまのことをもっと知ろう、もっと学ぼう～

特集 わかやまのいっしょをわっしょい知んべい、わっしょい草花いっしょ

ふるさと教育の推進

01 | ふるさとのすがた



「わかやま何でも帳」を授業で活用

「わかやま何でも帳」は、「ふるさと和歌山」への興味・関心をより高め、ふるさとを愛し、そして、ふるさと学習に取り組めるよう作成したふるさと教育副読本です。

今回、各種データを更新するとともに、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」、「南紀熊野ジオパーク」、県の観光や防災対策などを追加・充実する内容に改訂しました。

県内すべての学校に配付し、授業等で活用しています。なお、県内の中学生には、全員に配付しています。一般販売も行っていますので、ぜひご購入ください。

松下 幸之助 (まつした こうのすけ)

1894(明治27)ー1989(平成元)年

世界のパナソニックの創業者……「和歌山市に生まれる」

和佐村(現和歌山市)に生まれる。父が事業に失敗し、9歳で小学校を中退。大阪へ丁稚奉公に行く。15歳の時、大阪市内を走る市電を見て、大阪電灯の配線工となる。最年少で検査員に昇格するが、自ら考案した改良ソケットを事業化するために独立し、1918(大正7)年「松下電気器具製作所」を創立する。「改良アタッチメントプラグ」「二股ソケット」が好評を博す。

戦後「三種の神器」と呼ばれた家電製品を世に送り出して電化ブームを牽引する。海外へも積極的に展開し、日本企業のグローバル化の先駆けとなる。

他にも1946(昭和21)年PHP研究所設立。1980(昭和55)年松下政経塾を開塾し、1982(昭和57)年には「日本国際賞準備財団(1983年国際科学技術財団と名称変更)」設立した。

松下幸之助シンポジウム～神様の経営と和歌山精神～を東京で開催

日時：平成28年12月17日(土) 13:30～16:30 場所：明治大学駿河台キャンパス アカデミーホール

「和歌山県民歌」を歌うことができますか。



和歌山市立貴志中学校

県内の小・中学校の音楽の授業でとり上げ、卒業までに歌えることを目標に、県民歌の普及を推進しています。

作曲者は「赤とんぼ」で有名な山田耕柝です。作詞者は西川好次郎で、南国紀州を愛する情熱を傾け、平和へ、勤労へ、希望へ真心を込めて作詞しました。

小・中学校の音楽の授業で歌えるように、CDを制作しました。紀北地域の学校には和歌山市立貴志中学校、紀南地域の学校には、田辺市立東陽中学校合唱部のみなさんの歌声がおさめられたCDを配付しています。

和歌山県民歌

西川好次郎／作詞
山田耕柝／作曲



- 1 ほのぼのと かおる浜木綿
陽に映ゆる 緑の起伏
和歌山は 常春の国
人の和と 文化を添えて
いや更に 伸びよ栄えよ
ふるさとは つねに微笑む
- 2 南国の 息吹ゆたかに
野は稔り 街はおどる
和歌山は 幸を生む国
汗に明け 火花に暮れて
いや更に 伸びよ栄えよ
ふるさとは つねに微笑む
- 3 くるがねの 軌道ゆくところ
黒潮のしづきはめぐる
和歌山は 明日を呼ぶ国
とこしえの 若さに乗りて
いや更に 伸びよ栄えよ
ふるさとは つねに微笑む

こちらのQRコードから県民歌をご視聴いただけます

02 | ふるさとの自然・文化

世界遺産追加登録、決定へ「紀伊山地の霊場と参詣道」

ユネスコに対し提案していた世界遺産追加登録について、その諮問機関(イコモス)から「承認」が勧告されました。それを受け、7月10日からトルコ・イスタンブールで開かれているユネスコ世界遺産委員会で正式決定されます。

これにより、平成16年の登録時に世界遺産となっていなかった地点について、かねてより現地住民の方々等と一丸となって進めてきた取り組みの成果が認められます。

今回の追加登録で、世界に誇れる和歌山県の宝が増えたことを大歓迎すると同時に、後世に伝えていくという我々の責務もさらに大きくなったことを実感しなければなりません。

なお、追加されるのは、以下のとおりです。



とつげい 關雞神社(田辺市)
※追加登録地点のひとつ

熊野参詣道 中辺路 9地点
熊野参詣道 大辺路 9地点
高野参詣道 4地点
(登録面積 11.1ha増、
参詣道延長 40.1km増)
※今回追加されるのは
和歌山県内の地点のみです。

平成33年度第45回 全国高等学校総合文化祭の開催地に和歌山県が内定!!

全国高等学校総合文化祭は、国内最大規模の高校生芸術文化活動の発表の場です。全国から約2万人の高校生が、演劇、合唱、吹奏楽、郷土芸能、書道、新聞などの部門に参加します。また、総合開会式やパレードも行う予定です。今後、準備委員会を設置し、準備を進めていきます。



橋本高校

03 | 和歌山を担う人づくり

本県では、県内の様々な事業所と連携して、小学校では職場見学、中学校では職場体験、高等学校ではインターンシップを実施しています。

また、高等学校では、民間企業経験者を就職指導員として配置し、企業等と学校をつなぎ、高校生の県内就職を支援しています。

このような取り組みを通して、地元にある素晴らしい企業等への理解を深め、将来、地域のリーダーとして活躍する人材や地域の発展を支える人材の育成をめざしています。

くじら 「鯨とともに生きる」が日本遺産に認定されました

日本遺産とは、地域の歴史的魅惑や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定し、地域の活性化を図ることが目的で始まった国の制度で、熊野灘の捕鯨文化に関するストーリー「鯨とともに生きる」が、4月25日、日本遺産に認定されました。



河内祭の御舟(串本町)

江戸時代ははじめ、鯨を打ち込んで鯨をとらえる古式捕鯨が太地周辺に住んでいた人々により始められ、熊野灘沿岸地域の産業を支える存在に発展しました。鯨は肉や油だけでなく、皮や骨、ひげなども生活用品として使われるなど余すことなく利用されました。鯨に対する感謝と崇拝の形として、供養碑が建立され、河内祭や、鯨踊りなどの伝統芸能が今も受け継がれています。

世界農業遺産認定「みなべ・田辺の梅システム」



世界農業遺産(GIAHS)とは、国際連合食糧農業機関(FAO)が、2002年に開始した仕組みで、次世代に受け継がれるべき重要な伝統的な農業(林業・水産業を含む)、農村文化、農業景観などを全体として認定し、その保全と持続的な活用を図るものです。これまでに、世界で15カ国36地域、日本では、みなべ・田辺地域を含め8地域が認定されています。

「みなべ・田辺の梅システム」とは、養分に乏しく崩れやすい里山の斜面に梅林を配置し、その周辺には、紀州備長炭の原料となるウバメガシ等の林(薪炭林:しんたんりん)を残すことで、降雨を貯えて洪水を抑えるとともに、斜面が崩れるのを防ぎつつ、薪炭林に住むニホンミツバチを梅の受粉に利用しながら、400年にわたり高品質な梅を持続的に生産してきた農業システムのことです。



みなべ・田辺の梅システムの概要図

応募前サマー企業ガイダンス2016を開催



県が中心となり、6月16日(木)和歌山ビッグホール・ビッグウエーブにおいて、高校3年生を対象にした、県内企業等(107社)の大規模な企業説明会が行われました。



就職を希望する高校3年生のほぼ全員にあたる約2300名が参加し、各企業等のブースを回わり、採用担当者等から企業の事業内容等の説明を受けました。

参加した高校生からは、「人の役に立てる仕事に就きたいです。」などの感想がありました。



2016 情熱疾走 中国総体 和歌山県で ヨット競技大会開催



高校スポーツ最大の祭典であるインターハイ。そのヨット競技大会を平成36年まで、和歌山マリーナシティにある和歌山セーリングセンターで開催します。

本年度は、8月12日(金)から16日(火)までの間、全国から高校生セーラーが来県し、和歌浦の海を舞台に熱戦が繰り広げられます。ヨット競技は常に変化する風をよみ、最適なコースで進む判断力と他の選手との位置取り等かけひきが求められるスポーツです。

本大会の開催を契機に、「和歌山の海」の素晴らしさを全国に発信するとともに、ヨット競技の普及を図っていきます。

日本トップレベルの高校生セーラーの応援に、ぜひみなさんも会場へお越しください。

公立中学校3年生が英語検定にチャレンジ! 英語力の向上をめざす

和歌山県では、平成23年度から国際人育成プロジェクトに取り組み、外国の人々と対話できる英語力を身に付けた、広く世界で活躍できる人材の育成をめざしており、その一環として、昨年度から検定料を県で負担し、公立中学校の3年生を対象に、英語検定を導入し、学習指導に活用しています。

この取り組みでは、生徒が、英語検定をめざして意欲的に英語学習に取り組むとともに、その結果をもとに、各学校が授業改善を進めることで、生徒一人一人の英語力の向上を図っています。

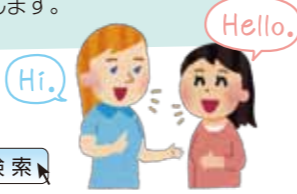
なお、一次試験は、各中学校において、10月7日(金)に行われます。

※英語検定とは、公益財団法人「日本英語検定協会」が学習指導要領の内容に基づき作成し、実施する「実用英語技能検定」のことです。協会のホームページに、各級の目安(レベル)や過去の問題などが掲載されていますので、参考にしてください。

公立の中学校3年生の保護者の皆様へのごお願い ～二次試験[11月6日(日)]の対応を～

英語検定の受験級は、中学校卒業程度の内容を問う3級を基本としています。3級以上は一次試験と二次試験があり、各中学校で実施する一次試験に合格すると、日本英語検定協会が指定する県内の会場で二次試験(面接試験)があります。県としては、二次試験を受験する生徒に対して、傷害保険をかけるさせていただきますが、受験会場までの交通費を各御家庭に負担いただき、保護者の責任のもと受験させていただくことになります。

保護者の皆様には御負担をおかけしますが、本事業の趣旨を御理解の上、御協力いただきますようお願いいたします。



英語検定 検索

知っていますか? テレビやラジオ番組で学校や地域の特色ある取組を放送しています。

教育 定期便 ラジオ放送 教育の窓

放送日時 第2、第4土曜日 8:45～9:00
和歌山放送で放送しています。

- 今後の放送予定
- 8/13 ●特別展「泳ぐカメ」
 - 8/27 ●和歌山県が誇る世界遺産
 - 9/10 ●全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催
 - 9/24 ●「サマー遊ing2016」
 - 10/ 8 ●「地域づくりとコミュニティの形成」
～有田川町における休校を活用した取り組みを通して～
 - 10/22 ●地域みんなが子育て応援団
 - 11/12 ●全校児童が主役の「北山会議」
 - 11/26 ●大規模展「動き出す! 絵画-モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち-」



教育 テレビ番組 はばたく紀の国 ～教育は今～

放送日時 平成28年10月～平成29年3月第1、第3日曜日
10:30～10:50
テレビ和歌山で放送しています。

※すべての番組に手話通訳が付きまます。

- 今後の放送予定
- 10/ 2 ●運動部活動!
～主体的に「取り組む」「支える」～
 - 10/16 ●「世界津波の日」における地震・津波避難訓練
～「稲むらの火」から学ぶ～
 - 11/ 6 ●岩橋千塚古墳群とその時代
 - 11/20 ●地域力を生かした子供・子育て支援



※テレビ・ラジオとも、これまで放送した番組については、和歌山県教育委員会のホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。 ※都合により、放送内容が変更になる場合があります。

きのくに 教育めぐり 教育長挨拶

串本町教育委員会



日本トルコ友好マスコットキャラクター「まぐトル」



串本町は、本州最南端の町です。串本の海は、黒潮のはたらきにより常に暖かく、世界で最も北にサンゴの群落があり、ラムサール条約にも認定されている貴重な海です。

また、橋杭岩を始めとする特徴的な地形は、南紀熊野ジオパークとして認定されています。

昨年は、「エルトゥール号遭難」の史実に基づいた映画「海難1890」が公開されました。串本の子供たちは、先人たちの偉業を誇りに思い、その真心を受け継ぎました。今後、日本・トルコを始めとする国際友好関係を更に強める中心的な担い手となって欲しいと願っています。

串本町では、町教育基本方針である「人間尊重の精神を基盤として家庭や社会を愛する心情を培うとともに、豊かな知性と教養を身につけ、真理を希求し、自主自立の態度で絶えず心身の向上に努める人間の育成を目指す」を受け、目指す人間像を(1)人間尊重の精神を持ち、仲間や郷土を愛する人間、(2)知徳体のバランスのとれた力である「生きる力」を身につけた人間、(3)自主自立の態度で絶えず心身の向上に努める人間と設定して教育を行っています。

今後も地域の豊かな自然、歴史、文化、人材を最大限に活用し、全ての活動の基盤となる学級集団づくりや地域共育コミュニティ形成を重視しながら、学校・家庭・地域・教育委員会が一体となった取り組みを推進していきたいと考えています。

串本町教育委員会 教育長 野呂 正人

国際交流 「レイディ・ワシントン号」 ～おもてなしの記録～



1791年4月29日、米国商船「レイディ・ワシントン号」と「グレイス号」が大島に来航。その時の様子が記された航海日誌が、今年米国で発見されました。そこには、「薪と米を持ってきて船長に贈った」などの記述があり、島民と友好的であったことを推察することができます。

ケンドリック船長の家が保存されているマサチューセッツ州ウェアハムのミノーフレスト小学校と串本町立田原小学校の5・6年生が今年から文通を始めます。225年たった今、子供たちによる新たな交流が始まることになり、日米友好の気運がますます高まっています。

ケンドリック船長の家が保存されているマサチューセッツ州ウェアハムのミノーフレスト小学校と串本町立田原小学校の5・6年生が今年から文通を始めます。225年たった今、子供たちによる新たな交流が始まることになり、日米友好の気運がますます高まっています。

「トルコ・メルシン市との交流」

串本町は、トルコ・メルシン市、ヤカケント市、アメリカ・ヘメット市と姉妹都市提携を結んでいます。メルシン市とは1994年から交流が始まり、町内中高生との交流、ホームステイ、日本食、カヌー等の各種体験を行い、串本の文化・習慣に多く触れる機会をつくっています。



本年度は8月17日から2週間、トルコ青少年団が来訪します。串本の子供たちにはこの交流を通じて、外国の文化等に対する興味・関心を持ち、今後の友好関係を築く中心的な担い手となる自覚を持ってほしいと期待しています。

防災教育 「子供たちの命を守る避難訓練」



南海トラフ巨大地震の際には、全国で最も早く津波が到達するのが串本町だと想定されています。



東日本大震災以降、各校で子供の命を守るにはどうしたらよいかを考え、県が作成した防災教育指導の手引きやゲストティーチャーを活用した学習及び地域と連携した訓練を実施して、正しい知識と情報をもとに適切に行動できる力を育てています。

今後は、いつ、どこにいても臨機応変に行動できるよう、子供が主体的に考え、判断し、行動できるよう、学校だけでなく、地域と共に考えて実施する防災の取り組みを推進していきたいと考えています。そうすることで地域全体の防災力向上、子供たちの命を守ることに繋がっていくと考えています。

町内では隣接する学校や地域と合同で、また、自衛隊や警察、スクールバスやJR関係の方々や連携して様々な訓練を実施しています。

共育コミュニティ 学校・家庭・地域のさまざまな立場の大人が、子供たちの豊かな育ちを支え、同時に大人同士も育ち合う取り組みです。

今回は、御坊市立御坊小学校での共育コミュニティづくりを紹介します。

御坊市では、平成20年度から共育コミュニティづくりを推進してきました。今回は、御坊市立御坊小学校での取り組みについて紹介します。

地域の伝統“御坊祭”を継承(ふるさと教育)

御坊市立御坊小学校では、将来にわたって地域社会に貢献しようとする意識を育むため、ふるさと教育を進めています。その一環として、地域の方々や宮司さん等に講話や実演をお願いし、子供たちが地元御坊祭の歴史を知り、郷土の文化・芸能に誇りをもてるよう取り組んできました。

宮司さんからは「私たち祭り関係者が、子供たちに実際に説明することで、練習から一生懸命に参加してくれ、伝統文化を大切にしている心が育ってくれてうれしい。」等の声をいただきました。また他の関係者からも「子供たちが地域行事に積極的に参加してくれるようになった。」との声が上がってきています。地域の方々から学ぶことで、子供たちの地元への愛着が育ってきています。



すずのたどり 雀踊のお囃子(三味線)の実演



児童による雀踊のお囃子(笛)の実演

地域と一緒に避難訓練

南海トラフ地震を想定し、行政や各種団体の支援のもと、県立日高高等学校が主体となり、幼稚園・保育園、小学校と地域住民が連携して平成27年度から合同避難訓練を実施しています。この日は、全児童がライフジャケットを着用し、日高高校まで避難しました。また、避難終了後には、炊き出しや起震車、煙からの避難等を体験しました。地域の方々と合同で避難訓練を実施することで、児童たちは「自分の命は自分で守る」という危機意識が高まってきています。

また、地域の方々から「避難訓練の大切さや難しさがよくわかった。」「実際地震がおこった時にも子供たちと一緒に避難できる。」といった声を多数いただきました。地域全体で避難訓練を行うことで、地域の防災教育の在り方や防災について考える機会となりました。



救命胴衣を身に付けより高いところへ避難

学校の環境整備

多くの地域の方々、学校敷地内の除草作業や花植えなどの様々な環境美化活動に取り組んでいます。美化活動に参加してくれたボランティアの方からは「学校の先生をはじめ、子供たちからも話しかけられるようになってきて、学校や子供たちのためになっていると実感しています。」との声をいただいています。

学校の中に共育コミュニティの輪が根付いてきています。



ボランティアの方々の活動の様子

スポーツで地域を元気に!

住民の住民による住民のための「総合型地域スポーツクラブ」をめざして



スポーツ教室の様子



農園の様子

第11期 桃山体育王国スポーツクラブ(紀の川市)

当クラブの前身は、「ももやま体育王国」という月1回、旧桃山町体育指導委員会が運営していた多種目スポーツ教室でした。

毎回150名以上の参加がある人気教室で、平成17年の桃山町の近隣5町合併を機にこれをより発展的なものにするため、当時の体育指導委員らが中心となり平成20年に当クラブを設立しました。

現在は、体力測定やレクリエーションスポーツ、水泳といった自主活動を行い、地元のスポーツ少年団と連携してスポーツを楽しむ機会を設けています。

また、桃山会館裏の畑で農作物を栽培するなど、スポーツだけでなく様々な取り組みにチャレンジして、小規模ながらもみんな仲良く元気に活動しています。

展示 イベント

夏休みには、企画展に行ってみよう!

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)、入館料は高校生以下は無料です。※詳しくは各館のホームページをご覧ください。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

企画展「なつやすみの美術館6 きろくときおく」

会期 7月2日(土)~9月19日(月・祝)



夏休み中の子供とおとなと一緒に楽しむ展示の第6回目。

今回は、和歌山県内各所の土を集めた作品や昔の風景のスケッチ、家族を題材とした作品などによって、私たちがめぐる「しろく」と「きおく」をたどります。

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

夏休み企画展 きのくに人物百科-姿(すがた)とことば-

会期 7月16日(土)~8月31日(水)



徳川頼宣像(館蔵)

きのくに(和歌山)には、弘法大師空海や明恵上人・徳本上人、徳川頼宣をはじめとする歴代の紀伊徳川家の人々、華岡青洲や本居宣長など、非常に多くの偉人がいます。この企画展では、平安時代~江戸時代に和歌山で活躍し、ゆかりのある様々な有名人について、肖像画と記録を中心に紹介します。

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

夏休みの展示

夏休みに調べてみよう、考えよう

県立図書館では、毎年夏休みに合わせて、実験や工作、観察などの本を展示・貸出をしています。

今年も7月中旬から行いますので、ぜひ自由研究や調べ学習に活用してください。



約200冊を展示予定

文化情報センター(和歌山県図書館内)

サマー遊ing2016 夏休みに普段味わえない体験を!

7月21日(木)~24日(日)まで、子供たちを対象に、ウミガメの赤ちゃんに触れたり、勾玉作りや貝殻細工など、普段触れられない多彩な体験ができるイベントを実施しています。



サマー遊ing(ウミガメ教室)

図書館で涼もう! 2016

体験イベント2本立て!

夏休みに楽しく図書館を利用してもらうためのイベントを行います。詳細はHPやチラシでご案内します。



去年のイベントの様子

- ①紙芝居を作ろう
日時:8月2日(火)13:00~15:30
内容:紙芝居の作り方について説明した後、実際に制作を行います。
- ②アート体験!ドローイング
日時:8月18日(木)14:00~16:00
内容:絵本の読み聞かせやドローイング(線で絵を描くこと)を行います。

ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

チャレンジしてみよう!

各種の体力測定により、県内の優れた素質を有する子供たちを早期に見出し、発達段階に応じた「育成プログラム」を展開することで、将来オリンピックをはじめとする国際舞台で活躍できる競技者を育成します。

本年度も小学校3、4年生を対象にゴールデンキッズを募集する予定です。たくさんのご応募お待ちしております。

和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト [検索](#)

体力測定会 日程

- 第1ステージ
平成28年11月19日(土)田辺スポーツパーク
11月26日(土)和歌山ビッグウエーブ
11月27日(日)和歌山ビッグウエーブ
- 第2ステージ
平成29年 1月22日(日)和歌山ビッグホエール
- 募集期間 平成28年9月1日(木)~30日(金)





教育長 宮下 和己

2030年

今、日本を含むOECD(経済協力開発機構)加盟国では、教育改革が共通した大きな課題となっています。このためOECDでは、昨年度から新しい教育の在り方を追求するプロジェクト「EDUCATION2030」に取り組んでいます。2030は、西暦2030年のことですが、今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍するその頃には、日本は、厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されています。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し、子供たちが就くこ

とになる職業の在り方についても、現在とは様変わりすると言われてしています。ある研究によると、ロボットや自動化などによって、今後10年から20年のうちに半分の仕事が消えるだろうとも言われています。このような中で、成熟社会を迎えた日本では、個人と社会の豊かさを追求していくためには、一人一人の多様性を原動力とし、新たな価値を生み出していく必要があります。そして人間はきっとそれを成し得ると信じています。

日本の人口は、2030年には、一千万人減少していると予想されています。和歌山も例外ではなく、現在95万8千人、2030年82万人、2060年にはこのままでは50万人になると言われています。そのとき70万人を確保するため、昨年6月和歌山県では、今後5か年においての目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。また、今年度「和歌山県長期総合計画」を一年前倒して策定することになっています。平成29年度から概ね10年

の和歌山県のめざすべき将来の姿と、その実現のための県行政の全般に係る政策及び施策の基本的な方向を明らかにする総合的な指針です。ふるさと和歌山創造のため、教育としての役割をしっかりと果たしていかねばなりません。

ところで、11月22日は「和歌山県ふるさと誕生日」です。明治4年のこの日に、和歌山・田辺・新宮の紀州3県の統合により現在の和歌山県が誕生しました。このときの人口が、55万7千人でした。その後幾多の困難を乗り越え、和歌山県も日本も、大いに発展を遂げました。将来を担う子供たちには、これから待ち受ける変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を身に付けてほしいと願っています。未来は子供たちのためにあるのです。

「無限に発展する道はいくらでもある。要はその道を探し出す努力である。」

(松下幸之助)

お知らせ

和歌山県高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)制度について

高校生等の授業料以外の教育費を軽減するため、平成26年度以降の入学者のうち低所得世帯に対し、和歌山県高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)を給付します。



1. 申請期間 平成28年7月1日(金)～平成28年7月29日(金)

2. 対象

平成28年7月1日現在、以下の要件を全て満たしている方(世帯)

- ①保護者(親権者)等が生活保護を受給または、市町村民税所得割額が0円(非課税)であること
- ②保護者(親権者)等が和歌山県内に住所を有していること
- ③高校生等が高等学校等就学支援金又は学び直し支援金支給の資格を有する者であること
- ④高校生等が平成26年度以降の入学者であること

3. 申請方法

- ・県内の学校へ通学されている方は学校を通じて、提出してください。通学されている高等学校等で申請書を受け取り、必要書類を添付のうえ学校へ提出してください。
- ・県外の学校へ通学されている方は県へ直接申請してください。申請書は下記問い合わせ先で直接入手するか又は郵送を希望される場合、下記の問い合わせ先までその旨連絡してください。申請書等は下記ホームページアドレスからダウンロードも可能です。



ホームページ [【公立】和歌山県教育委員会生涯学習課](#) [検索](#) [【私立】和歌山県文化学術課](#) [検索](#)

問い合わせ先 [【公立】県教育委員会生涯学習課 奨学班 ☎ 073-441-3663](#) [【私立】県文化学術課 学術振興班 ☎ 073-441-2108](#)

和歌山県大学生等進学給付金

進学意欲と学力が高いにもかかわらず、経済的な理由により大学等への進学が困難な学生を支援するため、**4年間で総額240万円**の給付金制度を創設

1. 募集人数 **40名**(平成29年度入学生から対象)

2. 給付金額 **年間60万円(4年間 総額240万円)**

3. 支給要件

- ①保護者(親権者)が**県内に住所を有していること**
- ②保護者(親権者)の**市町村民税所得割が非課税**であること
- ③(独)日本学生支援機構第一種奨学金の採用候補者として決定を受けていること
- ④県内へのUターン志望者であること

※原則、**大学卒業後、県内に居住し就業することが必要**

4. 選考方法

高校の評点(5段階評価で3.5以上)に**選考検査(小論文及び面接)**の成績を加算した上で、**評価点等の高い者から選考**する

問い合わせ先 [県教育委員会生涯学習課 奨学班 ☎ 073-441-3663](#)

和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

[和歌山県教育委員会](#) [検索](#)